

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会平成21年度いのちのメッセージ発信事業

『とべないホテル』に こめられたもの」

高岡市立国吉小学校1～6学年児童、保護者
平成21年7月15日実施

【いのちの先生】

小澤 昭巳先生

- ・元高岡市立伏木小学校校長 第1回高岡市民文化賞受賞 童話「とべないホテル」は世界各地で翻訳185万部出版
- ・映画「ピピ とべないホテル」はヒューズトン国際映画祭で金賞



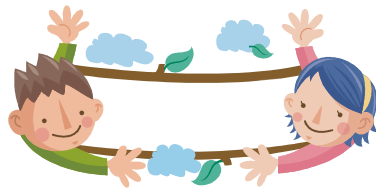
家族のみなさんへ

ぼくが小澤先生の話聞いて思ったことは、友達を大切にしようということです。小澤先生が友達に助けてもらったことを言われて、ぼくも友達に助けてもらったときのことを思い出したので、もっと友達を大切にしようと思いました。これからは友達のことを気にかけていきたいです。

家族のみなさんへ

小澤先生のお話を聞いて、私はいのちの大切さを知りました。一人一人は生まれてくるときから違うし、障害のある人もいます。

一人一人のいのちを大切にしていきたいです。そして、自分の一生を、夢をもって大切にしたいと思います。



家族のみなさんへ

私は、今日のお話を聞いて、友情を大切にするという新たな目標ができて、今まで仲がよかった友達はもちろん、男女関係なく友情を深めるとともに、自分の心、そして、いのちを大切にしていきたいと思いました。

今日、お聞きした大事な話を家族といっしょに話し合ってみたいです。

家族のみなさんへ

いじめられていても、それを助けてくれる仲間がいる。障害があってもそれを認めてくれる人たちがいる。人と違うところがあっても、人間は人間、そう思ってくれる人がある。「勇気をもって、一歩を踏み出そう」小澤さんは、そんな思いを届けてくれた。「ありがとう」一言そう言いたかった。小澤さん、本当にありがとう。心から感謝します。